

平成 29 年度「知事と市町長の1対1対談」(多気町)概要

1 対談時間

平成 29 年 6 月 6 日 (火) 13 時 00 分～14 時 00 分

2 対談場所

ふれあいの館 (多気郡多気町丹生 4894 番地)

3 対談市町名

多気町 (多気町長 久保行央)

4 対談項目

「(仮称) アクアイグニス多気」について

5 対談概要

(多気町長)

「食と健康」をコンセプトに薬膳を取り入れて、三ツ星レストランを誘致をしようということで、今年1月にスペインのサン・セバステイアン市に行ってきました。この市には、スペインに今7つほどある三ツ星レストランのうち3つがあります。この市は、世界各国から連携協定を結びたいと言われてはいますが、おかげさまで美食の街であるサン・セバステイアン市と多気町が連携協定を結ぶことができました。今年2月22日には同市市長が多気町に来町されました。今後、絆を深めていきたいと考えています。

「食のハーバード大学」と呼ばれるC I A (カリナリー・インスティテュート・オブ・アメリカ) の日本校誘致をめざしており、国からの支援についてお願いしているところです。県からも側面から応援していただきたいと思えます。

(知事)

計画場所を見せてもらいましたが、広大な土地で壮大なプロジェクト、期待も膨らむところです。

C I A は、ニューヨークに本校、ナパバレーに分校があり、世界中の料理人や有名シェフを送り出している世界最高峰の料理学校です。今まで、アジアではシンガポールにしか学校を作ったことがなくハードルが高いです。平成25年のアメリカミッション時に当学校の副校長にも会い、その後も継続的に交流を進めています。極めて難関ではありますが、多気町の誘致に向けた取組を支援していきます。平成27年春、相可高校の教師・生徒がC I A で行われたWorld of Flavor (年一回の食の祭り) に参加し、松阪牛の寿司を提供して好印象を得ました。来週閣議決定される「骨太の方針」の中に、食産業をはじめとするサービス産業の高等教育機関が大事である旨記述されると思

います。政府の後押しを受けてC I Aの誘致に取り組んでいきたいと思ひます。誘致できれば、全国、世界中から人が集まり、人口対策にもなると考えています。

スペインの大使が三重県にお越しになった際に、サン・セバスティアン市と多気町が連携することが出来たことを喜んでおられたし、驚いてみえました。世界中の食を売りにしている街からの誘いは拒否しているのに、多気町は可能になったことは改めてすごい状況になったと思ひます、同市との交流を進めていただきたいと思ひます。

食の教育の関係について、専門教育を受けている高校生が海外にインターンシップに行ける予算を今年度から新たに付けました。現在、年間200名くらいの三重県立高校の卒業生が、海外勤務に伴うビザ取得のため、学校に卒業証明書を取りに来ています。普通科の生徒だけでなく、専門教育を受けている生徒もどんどん海外に行ける機会をつくるようにしようと今年度から予算化しました。先ずは、モノづくり部門と食の関係部門の数名ずつを計画しており、行き先の第一候補がC I Aですので、色々な連携関係を積み重ねていくことが大事だと思ひています。

(多気町長)

「健康とアウトドア」として、この地を発着拠点として、2次交通を整備し、周辺の市町との観光資源等を繋ぐ「観光プラットフォーム化」計画に事業者が取り組んでいます。県全体の活性化にも大きな期待が生まれるものです。こうした施策については、地域の活性化や雇用拡大にもつながり人口減対策に効果があるものであることから、地方創生の一環として今年施行される「地域未来投資促進法」への採択に向けて、本町も現在準備を進めており、県関係部局のご協力をお願いしたいと思ひます。

民間事業ではありますが一大事業であるため、開業に向けて町としては、資金協力はできませんが事務関係の取組には最大限の努力をしていこうと考えています。

道路の関係として、当所の駐車場を活用し、伊勢市と大手自動車メーカーに計画に乗って頂き、自動運転（無人ロボット走行）の導入が出来ないかを計画しています。

(知事)

「観光プラットフォーム化」の新しい法律に基づく計画については、7月下旬くらいに法律が施行されると聞いています。広域での連携が大変重要であり、多気町が中心となって頂く事は有難いので、細かい

詰めをしっかりと情報収集しながら進めたいと考えています。

「地域未来投資促進法」については、申請をして地域経済牽引事業として計画が承認されれば、地域経済牽引事業に取り組む企業が設備を投資したら税金が減額されるというような制度です。地方創生推進交付金が活用できたり、ファンドから出資を受けられたり、設備投資の減税など色々なメリットがありますので、ぜひ連携していきたいと思います。どれくらいの規模で、どれくらい認定されるか我々も分かりませんが、国から色々と情報収集をしていきたいと思います。

(多気町長)

関連事業として多気駅周辺の整備を計画しています。県道松阪度会線、伊勢多気線、勢和兄国松阪線が通っており、周辺整備に含めて県道整備にも取り組めないかということで、一部関係部署に話をさせていただいています。それが出来ると多気駅からアクアイグニスまでルートの効果のある交通網が整備されることになると考えますので、応援をお願いします。

(知事)

県道については、限られた予算の中で、整備の効果が大きいもの、地元要望の優先度の高いものを中心に実施することが基本方針です。財政は厳しいですが、やらなければならないことは、きっちりやる必要があると思います。地元ならではのことや思いを建設事務所とよく相談させていただきながら進めていければと思います。

(多気町長)

これから林地開発や特に宅地開発関係など県との色々な協議が入ってきています。順調に行けば来年の春以降に着工ができれば、この計画が前に向かって進めていけると思っています。民間が行う事業で、町が中に入って一緒に行う誘致事業であるので、是非側面から強い応援をいただけたら有難いと思います。

(知事)

町がしっかりとコミットして行う事業として、十分理解しています。法律・法令は曲げられませんのでルールは守り、その上で法令のことで分からないこととか色々あると思いますので、それには誠実に対応したり、一緒になって円滑にできるようコミュニケーションを取りながら、しっかりとやっていきたいと思います。